

そうか！分かった！やってみよう！
「これがポイント！学習過程のBasic」

子どもが主体的・対話的で深い学びに向かうことができる授業づくりを目指し、1単位時間における問題解決的な学習の基本的な授業の流れを下記のように整理しています。学習過程におけるポイントを参考に、授業では、その時々の子どもの学習状況に応じた適切な指導や手立てを行いましょう。なお、発達段階や教科、授業のわらい等によっては、必ずしもこの流れになるとは限りません。

学習過程	細分化した学習過程	ポイント	ポイントの目的・意図	個の指導の充実（※）と学級経営（◇）
I 見直し	■前時の振り返り	<input type="checkbox"/> ノートや掲示物でこれまでの学習を想起させる <input type="checkbox"/> 子どもが振り返りを発表する <input type="checkbox"/> 単元における本時の位置付けを確認する	<input type="checkbox"/> 単元における学びのつながりを意識して学習に向かう <input type="checkbox"/> 前時の学習と本時の学習のつながりを意識しやすく、主体的に本時の学習に向かえる	※前時の内容を思い出せるように、視覚的に提示する ※単元の見通しをもたせることで、学習のゴールが分かり、安心や意欲につなげる
	1. 問題の提示	<input type="checkbox"/> 子どもが問いをもてるような問題を提示する <input type="checkbox"/> 提示の仕方を工夫する	<input type="checkbox"/> 問い（驚き・疑問・既習事項との違い等）を引き出す問題を提示することで、子どもが主体的に「学習課題・めあて」の設定ができるようにする	※教科書の問題、写真やグラフ等の資料、演示実験、ICT機器の活用など、教科や学習内容によって提示の仕方を工夫することで、興味・関心を持ち、学習に参加しやすくする
	2. 問いをもつ 問いの共有	<input type="checkbox"/> はじめに個人で問題を確認する <input type="checkbox"/> 教科等に応じた問いをもつ視点を示す <input type="checkbox"/> 全員が解決への見通しを立てられるようにする	<input type="checkbox"/> 一人一人の子どもに問いをもたせることで、学習に主体的に取り組める <input type="checkbox"/> 既習事項との相違点などを確認させることで「学習課題・めあて」を具体的にもてるようになる	※問いを確認し合ったり予想を出し合ったりすることで、友達のもった問いからヒントを得て、自立解決への見通しを立てることができる
	3. 学習課題・めあての設定 ■学習の流れの確認【I】	<input type="checkbox"/> 子どもが「何を学ぶのか」を明確に把握できるようにする <input type="checkbox"/> 全員が自力解決の見通しを立てることができるかを確認する	<input type="checkbox"/> 「問いの共有」で出された子どもの発言を受けて設定することで、課題が子どもたちのものになる <input type="checkbox"/> 子ども自身が今日の学習で「何が・どのようにできればよいのか」、「何が分かればよいのか」等のゴールイメージもつことで、主体的に学習できる	※子どもにとって分かりやすい具体的な言葉を使用することで目的や方法が理解しやすくなる ※課題の解決方法が選択できたり、見当をつけたりすることで自力解決に向かいやすくなる
II 解決活動	4. 自力解決	<input type="checkbox"/> 思考の時間を十分確保する <input type="checkbox"/> 考えの根拠や理由を書かせる <input type="checkbox"/> 本時のわらいを意識し、机間指導で個と全体の状況を見取る <input type="checkbox"/> 赤ペンをもって回り、称赞やアドバイスをする【V】 <input type="checkbox"/> 困っている子どもがいる場合は、教え合う場を設定する【III】	<input type="checkbox"/> 自分の考えを最後まで考えて、まとめきることができる <input type="checkbox"/> 一度思考を整理することで、自分の考えを相手に伝えやすくなる <input type="checkbox"/> 学級全体の学習理解度の把握と個別の支援が必要な子どもの見取りを行い、集団解決へつなげる <input type="checkbox"/> 即時評価することで、学習の意欲につながり集団解決に参加しやすくなる <input type="checkbox"/> 友達から考え方のヒントを得ることで自分の考えをもつことができる	※自力解決が進んでいない子どもへの手立て（例） ・ヒントカードを提示する ・これまでの学習をふり返る ・友達の考えを参考にする ・児童生徒用デジタル教科書等を活用して考える ※書いたものを手元に持つことで、自信を持って自分の考えを表現できるようにする ※視覚的な評価があることで自分の頑張りが目に見え、意欲付けになる ◇子ども同士が関わり合いを持つことで児童生徒相互の好ましい人間関係を育てる ◇※結果ではなく過程を認めることで称赞の機会が増え、自己肯定感を高めたり先生との信頼関係につなげたりする
	5. 集団解決 ■ペア・グループ活動【III】 ■全体での練り上げ（考察） ■教員の修正	<input type="checkbox"/> 聞き手の方を向いて自分の考えを伝え合う <input type="checkbox"/> 友達の考えの良さを褒めたりアドバイスしたりする【V】 <input type="checkbox"/> 友達の考えを記録する（自分とは違った考え等） <input type="checkbox"/> 司会者や記録者等の役割を決める <input type="checkbox"/> 話し合いの目的と手順を明確に伝える【II】 <input type="checkbox"/> ホワイトボードや思考ツールで意見を可視化する【II IV】 <input type="checkbox"/> 発表の仕方や聞き方を指導する <input type="checkbox"/> 子どもの意見を構造化しながら板書する【II】 <input type="checkbox"/> 意見の整理や修正を行う	<input type="checkbox"/> 友達と交流することで、自分の考えを広げたり深めたりする <input type="checkbox"/> 役割があることで主体的に参加できる <input type="checkbox"/> 目的と手順が分かることで、活動に参加しやすくなる <input type="checkbox"/> 情報を整理することで思考が整理される <input type="checkbox"/> 自分の考えと「同じところ」や「違うところ」を明らかにしながら聞くことで、授業に参加する意識を高める <input type="checkbox"/> 子ども達の思考の足跡を残す	◇相手を大切に育てる ◇相手の良さを見つけようと努めることで児童生徒相互の好ましい人間関係を育てる ※学習形態が変化することで、気持ちの切り替えができる ※役割があることで学習に参加しやすく、気持ちの切り替えができる ※思考を深めるために話し合ったことを可視化し、共通点・相違点・類似点を見つけやすくなる ◇うなずく等の反応が「聞いています」というメッセージになり、児童生徒同士の好ましい人間関係を育てる ※構造化されることで思考の過程が分かりやすくなり、ノートテイクもしやすくなる
III まとめ	6. まとめ （価値の共有）	<input type="checkbox"/> 子どもの言葉でまとめる <input type="checkbox"/> キーワードを使ってまとめる <input type="checkbox"/> 本時の学習課題（めあて）との整合性を図る（まとめの書き出しの言葉を示しておく）	<input type="checkbox"/> 本時のめあてについて、子どもの気づきや考えたことでもとめることで、本時の学びを確かにする	※キーワードが示されることで、まとめやすくなる ※まとめの書き出しの言葉が提示されることで、続きの文章が考えやすく、自分の力で学習のポイントをまとめることができるようになる
IV 振り返り	7. 振り返り （メタ認知）	<input type="checkbox"/> 視点を示して振り返らせる【V】 <input type="checkbox"/> 全員が「何を学んだか」認識できるようにする	<input type="checkbox"/> 今日の授業について自分の学びや成長への気づきを促すことになり、より深い学びへとつながる <input type="checkbox"/> 自己の学習への充実感が得られ、学習意欲の向上を図る	※視点を示すことで書きやすくなる ※自分の学びや過程をメタ認知することで、次の学びへの意欲につながる ◇振り返りを共有することで相互理解を深め、互いの頑張りを認め合い、共感的な人間関係を育てる

※【】内は、UDの5つの工夫（I環境の工夫 II情報伝達の工夫 III活動内容の工夫 IV教材・教具の工夫 V評価の工夫）にあたります。